



国有林野事業の取組

# 七里御浜の松林を 守り育てる、地域の力

近畿中国森林管理局 三重森林管理署

## はじめに

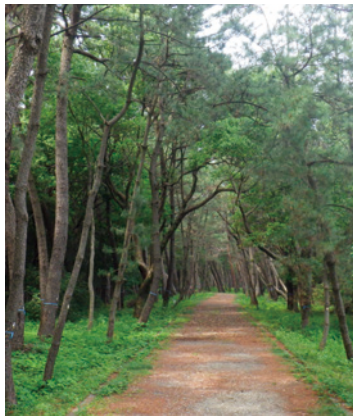
日本各地に広がる海岸沿いのマツの防風林（防風保安林）は、古くから、強風や潮害、飛砂から地域の暮らしを守る自然の防災施設としての役割を果たしてきました。

三重森林管理署には、熊野灘に面した海岸沿いに、クロマツ林で構成されている広大な七里御浜国有林があります。この松林は、熊野灘からの強い潮風を防ぐことを目的として、江戸時代に地元の新宮藩がクロマツを植栽したことに始まり、現在まで人々の暮らしを守ってきました。

今回は、こうした歴史ある七里御浜国有林において、地域と連携して進めている松林再生の取組について紹介します。

## 七里御浜国有林の概要

七里御浜は、熊野市から紀宝町まで約25 km続く、日本で最も長い砂礫海岸で、海岸線に沿って広がる幅約120mの松林



深緑の松林



長さ25 kmにもおよぶ七里御浜の松林

七里御浜風致探勝林・林野庁  
[https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu\\_rinya/kokumin\\_mori/katuyo/reku/rekumori/shichiri.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/shichiri.html)



### 管内概要

**所在地** 三重県亀山市本町1-7-13

**区域面積** 577千ha  
 うち森林面積 372千ha  
 うち国有林面積 24千ha

**関係自治体** 1県11市7町  
 三重県、津市、四日市市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、尾鷲市、亀山市、熊野市、いなべ市、志摩市、伊賀市、菰野町、大台町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町



三重森林管理署は、三重県内の森林面積の約6%（約24千ha）に相当する国有林の管理経営を担っています。国有林の人工林率は48%、分布は大きく分けて、三重・奈良県境を南北に走る台高山脈と三重・岐阜県境の養老山系及び三重・滋賀県境の鈴鹿山系にあり、気候の地域差が大きく、多様な動植物が生息する森林から住民の生活を守る防風林など、多様な森林があるのが特徴です。

これらの森林の特性を活かし、公益的機能の維持増進を行いつつ、持続可能な管理を進めています。



は、すべて国有林が管理しています。その海岸線と松林の美しさから、林野庁では平成29年に「日本美しい森お薦め国有林」の一つに選定してその特色や見どころ、歴史的な特徴などについて、情報発信を行っています。

一方で、昭和30年代以降、特に昭和50年代後半から平成初期にかけて数万本のマツ枯れ被害が発生しました。現在、被害は落ち着いているものの、高木のマツの多くが枯死したことに伴い、広葉樹が増えて、マツと混交林が主体となっています。

さらに、令和元年には台風による高波や暴風の影響により、松林の侵食や塩害によるマツの枯死も発生しています。

## 協議会の設立、GG (グリーン・グロー)作戦 の取組

松枯れ被害が深刻化するなか、昭和62年に三重県南牟婁郡紀宝町の呼びかけで、松林の保全を活動目的とする「七里御浜松林を守る協議会」が設立されました。現在では、紀宝町、御浜町、熊野市と三重県(熊野森林事務所)、環境省(近畿地方環境事務所)、三重森林管理署が参画しています。協議会は、地域住民の協力を得ながら、平成5年度から20年以上にわたり、マツの植栽による保全と活動のPRを図るため、ボランティア型の植樹・清掃活動であるGG(グリーン・グロー)作戦を実施してきました。

## 令和7年度の取組

令和8年2月には、七里御浜国有林内の3会場(熊野市、御浜町、紀宝町)で29回目となる「令和7年度七里御浜防風林GG作戦」を実施しました。地域住民をはじめとする130人の方々にご参加いただき、松くい虫に強い耐性を持つ抵抗性クロマツの苗木を、計240本植栽しました。植栽時には、苗木の活着を促すため、腐葉土を混ぜ込ませるとともに、乾燥により苗木が枯れるのを防ぐために、周りに干し草を敷き詰める新たな取組を行いました。このほか植栽会場周辺や海岸の清掃活動も行いました。

## おわりに

これまでのGG作戦では、約1万本のマツを植栽し、松林の再生が進められました。また、参加者は延べ約4,800人になり、これらの取組を通じて地域関係者との交流が図られました。

長年続く活動ですが、これからは植栽だけでなく、下刈等の保育作業も必要となってくる中で、今後も継続して松林を守っていくためには、地域の関係者の協力が不可欠です。幅広い世代に参画を呼び掛けながら、次世代の担い手確保に取り組んでいきます。

また、七里御浜は潮風が非常に強く、乾燥や塩害といった厳しい生育環境に加え、ノネズミやノウサギによる被害も発生しています。植栽した苗木の活着率の向上や、育成・管理に工夫が必要であり、専門家の意見なども踏まえ対応していきます。

七里御浜国有林は、美しい景観と歴史をもちながら、地域の暮らしを守る防風林として重要な役割を果たしています。三重森林管理署では、この松林を未来へつなぐため、地域との連携を深めながらGG作戦などの取組を継続していきます。



植林をしている様子



苗木の乾燥を防ぐための干し草を敷く作業



地元の子供たちとの清掃活動



紀宝会場での集合写真